くみあいNEWS

第１５２７９号
2022年3月15日(火)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)（54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

和歌山労組一枚岩となり 今次春季取り組みに臨む

去る２月28日(月)和歌山労組 AP22 春季取り組み決起集会を執り行い、今次春季取り組みにおける働く仲間の活力発揮に向けた人への投資の実現を目指し、直・協グループ労組合同で意思結集を行いました。日本製鉄労連は今次取り組みにおいて、すべての働く仲間の労働条件の「底上げ」「底支え」に向け、人への投資として基本賃金へ 3,500 円の財源投入を要求しています。最後の最後まで和歌山労組一丸となって AP22 春季取り組みを盛り上げていきましょう‼







AP22 春季取り組みキャッチフレーズについて

AP22 春季取り組みに対し、組合員一体となって盛り上げを図るべく募集した
キャッチフレーズの選考結果を発表します。

最優秀賞

『笑顔あふれる未来を目指し 心ひとつに AP22』
小径製管支部　橋本（はしもと） 謙志（けんじ）さん

優秀賞

『流した汗、重ねた努力！全てを託した AP22』	コークス支部	千川（ちかわ） 伸治（しんじ）さん
『明るい未来暮らしを守る心を一つに AP22』	中径製管支部	堀（ほり） 敏晃（としあき）さん
『未来に繋げる人への投資 みんなで勝取る AP22』	設備管理支部	藤田（ふじた） 純平（じゅんぺい）さん
『人への投資が未来へつながる 絶対勝ち取る AP22』	エネルギー支部	柳（やなぎ） 建次（けんじ）さん

応募総数 2,339 件

たくさんの応募ありがとうございました !!
参加いただいた方には参加賞を進呈させていただいています。

紀の川市長選挙結果

紀の川市長選挙については 2 月 27 日に投開票がなされ和歌山労組の
推薦候補者である、岸本たけし氏が当選を果たしました。





当 選　18,862票　岸本 健（51歳）

落 選　9,317票　森田幾久（54 歳）

ご支援ご協力ありがとうございました

組合員投稿コーナー

「休日の過ごし方」をテーマに投稿を頂きました！



ご安全に！圧延整備支部の北村維利です。

私は毎年冬になると休日はスノーボードで予定が埋まります。

和歌山ではあまり見ない、回り一面の雪景色をゲレンデの頂上から眺め、滑り降りる爽快感の虜になっています。



毎年温暖化の影響で雪不足が続いておりましたが、今年度は年末の大雪のおかげで良いコンディションで滑ることができました。

しかし最近では新型コロナの第６波を迎え、感染が拡大していることもあって自粛しており、コロナ禍でもできる趣味を模索中です。

感染対策をしっかり行い、今年も良い一年になるよう過ごしていきます。

「私の自慢」をテーマに投稿を頂きました！



ご安全に！製銑原料支部の土橋雅弘です。

私のマイブームは子供、テニス、筋トレです。

長女(5)次女(2)長男(0)の子育てに追われる毎日ですが、甘えてきたりパトカーをカトパーと言ったり日々の些細な事に癒されまくっています。

何で自分の子供だとこんなに可愛いんですかね♪



テニスは学生の頃から飽きずにずっとやっています。

主に平日の夜でしたが晩飯、風呂、寝かしつけと忙しく夜はNGとなり、平日休みの人を捕まえるか、スクールに行っています。

筋トレはテニスの頻度が下がり２年前頃始めました。

脂肪を付けないようにしていますが停滞気味なので増量、減量を繰り返すか迷っています。

まだまだ細いけどとりあえず上腕40㎝目指して頑張ります！

こくみん共済coopこどもの成長応援プロジェクト

なわとび寄贈式





去る 2022 年 1 月 27 日、こくみん共済 coop は、子ども達の体力向上に役立ててもらうため、なわとび 418 本、長なわ 41 本を有田市教育委員会に寄贈しました。

今回の活動については「こどもの成長応援プロジェクト」の一環として、こくみん共済（こども保障タイプ）の加入件数に応じてなわとび等を寄贈するというものです。和歌山労組としても加入促進に取り組んだ結果、なわとび 20 本、長なわ 2 本分の寄贈につながりました。

村田きょうこが和歌山へ上陸

去る 2 月 28 日(月)組合会館大会議室にて村田きょうこ web ファンミーティングが開催されました。

和歌山労組からは青年女性部を代表して、圧延整備支部の大谷さんが「これからの女性の働き方」について村田きょうこさんと意見交換を行いました。



カーボンニュートラル、子育て支援、年金問題等、労使交渉では解決が難しい課題について解決を図ってもらうため村田きょうこ氏を国会に送り、政治の場に声を届けよう！